

## 評価書作成時における修正事項

項目	頁	誤	正
1章 目次	1頁目	図番 図1.1.2 実施区域位置及び調査区域位置図	対象事業実施区域と調査区域
1章1節	P.1-2	4. 事業の目的 9行目 県道南信濃水窪線及び市道白倉川線	市道南信濃156号線及び市道水窪白倉川線
	P.1-5	図1.1.2 高架・橋梁 約0.7km トンネル 約2.8km	高架・橋梁 約0.6km トンネル 約2.9km 縮尺1万分の1の地図に変更
2章1節 社会的状況	p.2-4	本文4行目 林業	農業
	P.2-9	表中 飯田市 牧場 -	0
	p.2-23 表2.1.12	表中の数値 「8,272」 「5,353」	「11,326」 「6,700」
2章2節 自然的状況	P.2-111 表2.2.7(1)	オオタカの国RED Ⅱ類	準絶滅
	同上	ヤイロチョウの長野法令 文字切れ	長天 指定
	P.2-145	凡例 此田の石碑群	此田の石碑群
	P.2-148	(6) 水質 5行目 測定結果表2.2.21に示します。	測定結果を表2.2.21に示します。
3章2節 影響要因	P.3-8	表中 生態系の2行目 注目種	指標種
	P.3-10 表3.2.2	「コンクリート工事・舗装工事」の「水象」欄の「※」	削除
4章1節 大気質	目次の1頁目	図番 図5.1.16	図4.1.16
	目次の2頁目	表番 表5.1.27	表4.1.27
	P.4-1-1	表4.1.2 気象の状況 風向・風速 測定高さ：地上4.5m 気温・湿度 測定高さ：地上10.0m	風向・風速 測定高さ：地上10.0m 気温・湿度 測定高さ：地上1.5m
	P.4-1-35	図番 図5.1.16	図4.1.16
	同上	表番 表5.1.27	表4.1.27

項目	頁	誤	正
4章2節 騒音	目次の1頁目	図番 図4.4-1	図4.2.1
	P.4-2-25	→道路環境影響評価の技術手法	5)道路環境影響評価の技術手法
4章3節 振動	P.4-3-8	(3) 1) ①工事計画 1行目 工事区域	工事計画
	同上	同上 3) 予測地点 1行目 予測位置	予測地点
	P.4-3-11 表4.3.13	表の下に追記	備考：<30は測定下限値（30dB）未満であることを示します。
4章4節 水象	P.4-4-13 表4.4.8	単位（1/日）	（1/min）
	P.4-4-15 表4.4.9	単位（1/日）	（1/min）
4章6節 植物	目次の1頁目	表番 表4.6.9 保全対策の必要性の検討	保全対策が必要とされる環境要素の検討
	p.4-6-22 表4.6.8	34 シュンランの「確認の有無」「小嵐①」の「⊖」	削除
	p.4-6-30	(16) ダイモンジソウ 工事による影響 1行目 <del>ダンモンジソウ</del>	<u>ダイモンジソウ</u>
	p.4-6-50	(2) 保全対策の内容 1行目 <del>ミズマツバ</del>	削除
4章7節 動物	目次の1頁目	4. (1) 保全対策が必要とされる項目	保全対策が必要とされる環境要素
	同上	表番の頁番号 表4.7.1 4-7-6	4-7-5 以下、表4.7.26まで1頁ずつ繰り上がり
	同上	表番 2行目 表5.7.2	表4.7.2
	目次の2頁目	表番 表4.7.27 保全対策の必要性の検討	保全対策が必要とされる環境要素の検討
	P.4-7-1	1(1) 本文2行目 既存文献調査を実施しました。	現地調査を実施しました。
	P.4-7-6 表4.7.2	表番 表5.7.2	表4.7.2
	同上	2) 注目すべき種等（猛禽類） H10調査月 2,9	<u>2,4,6,9,12</u>

項目	頁	誤	正
4章7節 動物	同上	2) 注目すべき種等 (猛禽類) H11調査月 2,4,6,9,12	—
	P. 4-7-6 表4.7.3	3) 両生類・は虫類相	1) 両生類・は虫類相
	同上	4) 注目すべき種等 (サンショウウオ類)	2) 注目すべき種等 (サンショウウオ類)
	P. 4-7-38 表4.7.23	No.1 トカゲ 選定の有無 理由 最終行に追加	しません。
	P. 4-7-39 表4.7.24	エゾハルゼミ	ハルゼミ
	P. 4-7-44	(3) コキクガシラコウモリ 存在・供用による影響 1行目 キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ
	P. 4-7-55	(6) サシバ 工事による影響 4行目～ 生息地ほである	生息地である
	P. 4-7-62	(13) オオアカゲラ 工事による影響 1行目 生息地である な森林は	生息地である森林は
	P. 4-7-65	(1) トカゲの表	削除 (1)は欠番
	P. 4-7-69	同上 工事による影響 6行目 程度蜂以西と	は小さいと
	P. 4-7-75	(3) アカスジキンカメムシ 工事による影響 6行目 分布 しており、も広く	分布しており、広く
	同上	同上 存在・供用による影響 5行目 証す馬琴カメムシ	アカスジキンカメムシ
	P. 4-7-76	(4) チュウブオオオサムシ 存在・供用による影響 6行目 拾い範囲	広い範囲
	P. 4-7-77	(5) ベッコウヒラタシテムシ 工事による影響 7行目 分 部	分布
	P. 4-7-79	(7) オオセンチコガネ 存在・供用による影響 5行目 供 給現	供給源
	P. 4-7-80	(8) ゴホンダイコクコガネ 存在・供用による影響 6行目 供給現	供給源
	P. 4-7-82	(10) キンイロジョウカイ 存在・供用による影響 4行目 生息他に	生息地に
	P. 4-7-85	(13) オオチャバネセセリ 工事による影響 2行目 草薙	草地
	P. 4-7-98	(5) トウカイビロウドマイマイ 工事による影響 9行目 変化による	変化による

項目	頁	誤	正
4章7節 動物	P. 4-7-99	(6)ミヤマヒダリマキマイマイ 存在・供用による影響 2 行目 氾濫は	氾濫原は
	同上	同上 5行目 氾濫原広く	氾濫原は <u>広く</u>
	P. 4-7-100	4. (1) 保全対策が必要とされる項目	保全対策が必要とされる <u>環境要素</u>
	同上 表4.7.27(2)	番号24 トカゲ	種削除 24番は欠番
	同上	番号31~33 保全対策の必要性 文末欠如	検討し <u>ませ</u> ん。
	同上	番号38 分類 昆虫類	削除
	同上	番号40 分類 空欄に追加	<u>昆虫類</u>
	同上	番号43, 51, 52 保全対策の必要性 文末欠如	検討し <u>ませ</u> ん。
4章8節 生態系	目次の1頁目	3. (1) 保全対策が必要とされる項目	保全対策が必要とされる <u>環境要素</u>
	P. 4-8-47	(13) 溪谷・河畔の鳥類群集 食性 1行目 菜食	<u>採餌</u>
	P. 4-8-63	(16) 大型水生昆虫類 (オオナガレトビケラ) 存在・供用による影響 1行目~ キイロヒラタカゲロウ	<u>オオナガレトビケラ</u>
	P. 4-8-65	(18) シダ類 (クジャクシダ) 存在・供用による影響 1行目 ジュウモンジシダ	<u>クジャクシダ</u>
	P. 4-8-73	3. (1) 保全対策が必要とされる項目	保全対策が必要とされる <u>環境要素</u>
	P. 4-8-75 表4.8.25(2)	番号21 1行目 であり、 <u>また</u>	であり、 <u>また</u>
4章10節 触れ合い 活動	P. 4-10-7	青崩峠の表番 表4.10.3(5)	表4.10.3(6)
	P. 4-10-8	熊伏山登山道の表番 表4.10.3(6)	表4.10.3(7)
4章11節 廃棄物等	目次の1頁目	表番 2行目 追加	表4.11.2 <u>アスファルト塊及びコンクリート塊の再利用 例 4-11-1</u>
	同上	表番 4.11.2	表4.11.2

項目	頁	誤	正
4章11節 廃棄物等	同上	表番 4.11.3	表4.11.4
	P.4-11-1	表番 表5.11.2	表4.11.2
総合評価	P.5-4 表5.1.1(3)	予測結果欄 下から2行目 備考：÷年平均値	備考：年平均値
	P.5-20 表5.1.1(19)	保全対策欄 実施方法 保全措置	保全対策
6章 事後調査 計画	目次の1頁目	表番 表6.1.2	表6.1.1

### 評価書要約書作成時における修正事項

項目	頁	誤	正
1章 事業計画 の概要	同上	4.事業の目的 11行目～ 市道白倉川線	市道水窪白倉川線
	P.概n1-5	図1-2 図中 高架・橋梁 約 <del>0.7</del> km トンネル 約 <del>2.8</del> km	高架・橋梁 約 <del>0.7</del> km トンネル 約 <del>2.8</del> km